

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	スクープストレッチャーで傷病者を搬出中にバランスを崩して転倒した事案
3. 体験した事例の中心的要素	玄関が狭隘であったため、掃出し窓からスクープストレッチャーで傷病者を搬出しようとしたところ、暗闇での活動であったことから、足元の障害物(植木鉢)に気が付くことができず、バランスを崩し転倒したもの。
4. 体験した事例の原因・理由	暗闇にもかかわらず、足元の確認を怠ったことにより、着地点の障害物に気づけなかったことが原因であると考え。

【体験した事例の直接的原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。(大丈夫だろうと思った。)
------------------	------------------------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	令和5年11月17日 午後9時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外: 傷病者宅の縁側
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	重傷の怪我をしていた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	転倒
7. 事例体験時の活動	救急現場活動中期
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	車両への収容
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[39]歳、勤続年数[17]年、現場経験年数[15] 年、階級[消防士長] 同様の活動 [初めて]、任務 [車長]
○当事者B	年齢[28]歳、勤続年数[4]年、現場経験年数[2] 年、階級[消防士] 同様の活動 [初めて]、任務 [機関員]
○当事者C	年齢[25]歳、勤続年数[1]年、現場経験年数[0] 年、階級[消防士] 同様の活動 [初めて]、任務 [隊員]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者B、C	車内収容のため傷病者をスコープストレッチャーに乗せ、ベルトで固定。	
経過2	当事者A	玄関で傷病者の家族に状況聴取。	
経過3	当事者B、C	スコープストレッチャーの固定状況を確認。	
経過4	当事者B	スコープストレッチャーの足側を保持。	
経過5	当事者C	スコープストレッチャーの頭側を保持。	
経過6	当事者B、C	車内収容のためスコープストレッチャーにて傷病者宅の1階掃き出し窓から搬出開始。	
経過7	当事者B	足側を保持し、掃き出し窓から地上に降りた。	
経過8	当事者C	頭側を保持し、掃き出し窓から地上に降りた際バランスを崩し転倒。	傷病者は地面に落下することなく、怪我は無かった。
経過9	当事者A	傷病者の容体を確認し、傷病者及び同乗者の息子に謝罪。	
経過10	当事者A、B、C	傷病者の容体を確認後、3名で救急車内まで搬送。	
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？
○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

たまたま、事故にならなかった

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

--

○活動環境の対策について

--

○指揮・情報伝達の対策について

--

傷病者宅1階の掃き出し窓から搬出。その際、地面に置かれている植木鉢（○）に足をとられ転倒した。発生時、植木鉢は→の場所に置かれていた。

（救急要請があった日は、車両は前に出されている状態であった）



地面に置かれていた植木鉢。

傷病者搬送中に頭側の隊員がバランスを崩し転倒

